

再案内

第28回事例検討会・認知症対応力向上多職種協働研修ご案内

認知症の人との関わり方 -不安に基づく行動を知る-

事例は、遠方より兄弟のいる京都へ出て来られ洋裁教室と仕立てで生計を立てておられた独居の女性。郵便局から「何度も同じことを尋ねる」と相談が入り、包括職員、民生委員、行政職員が訪問。ご本人は「これからどうやって生きていけばいいのか」という不安を強く訴えられますが、介護保険申請等は拒否。認知症が進行しても自分の意志をしっかり話せる方でしたが、道に迷い保護されることが増え生活不安が更に増大。認知症初期集中支援チームが介入、その後訪問看護につながり少しずつ本人との信頼関係を築き介護サービスの利用につながった事例です。

認知症の人の気持ちや不安からくる行動について考え、認知症初期集中支援チームと訪問看護についても学びます。ぜひご参加ください。

2025

日時

11/27 木 14:00 ▶ 16:30

場所

ホテル京都エミナース 大ホール

対象

医療・介護・福祉専門職、民生児童委員、老人福祉員、学区社協、行政など

申込

下表に記入しFAX、または申込フォーム ➡➡
(締切11月13日まで延長)



内容

①事例紹介 ②認知症初期集中支援チームと訪問看護について
③グループワーク ④認知症サポート医のミニ講義

事業所または医療機関名：

氏名	職種

【お問合せ】西京区在宅医療・介護連携支援センター（担当：永田）

TEL：075-874-7708

FAX：075-874-6277

mail：zaitaku_3@nishikyo-med.or.jp

申込みFAX：874-6277